

福島林業

No. **729**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



5

2025



監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 自然・緑・木材資源



令和七年度の取組

福島県農林水産部長
沖 野 浩 之

皆様には、日頃より本県の森林整備や林業・木材産業の振興に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

本県では、「福島県農林水産業振興計画」に基づき、「復興の加速化」「担い手の確保・育成」など六つの施策を展開し、農林水産業・農山漁村の更なる発展に向けて積極的に取組を進めております。また、本年度は「第二期復興・創生期間」の最終年度であるとともに、新たな「ふくしま創生総合戦略」の始動の年でもあります。本戦略では、地域資源を活かした持続可能な産業の振興が重視され、林業も重要な役割を担うため、森林の有する多面的機能の発揮とともに、地域の活力を生み出す林業を推進してまいります。

まず、震災・原発事故からの復興につきましては、放射性物質の影響により停滞した森林整備の推進や、きのこ原木の生産再開に向け、「ふくしま森林再生事業」や「広葉樹林再生事業」に取り組み、森林の再生を図ります。また、特用林産物の振興のため、安全なきのこ生産に必要な資材導入支援や、山菜や野生きのこの出荷制限解除に向けた取組を継続してまいります。

平成二三年度から実施している海岸防災林事業は、本年度で全ての地区で整備が完了する予定です。多くの関係者の尽力により完成することに感謝申し上げますとともに、引き続き、海岸防災林の適切な保育管理を進めてまいります。

近年、社会問題となっている花粉症の対策では、主伐期を迎えたスギ人工林での花粉の少ない苗木等による植替えの支援を進め、森林の若返りを図ります。また、県産材の利用では、脱炭素社会の実現に貢献するため「ふくしま県産材利用推進方針」に基づき、木材加工施設の整備支援を進めます。さらに、これらの森林再生や林業・木材産業の成長産業化実現に必要な人材の育成・確保を、引き続き、「林業アカデミーふくしま」で図ります。

加えて、県民の森林への理解を深め、新たな森林（もり）づくりを推進するため、福島県森林環境税を活用した施策に取り組んでまいります。あわせて、市町村の森林経営管理制度の取組等を促進するために創設された「地域林政アドバイザー活用支援事業」により、市町村を支援してまいります。

今後とも、本県の森林再生と林業・木材産業の復興、成長産業化に向け、全力で取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら

令和7年度の取組

- 福島県農林水産部長 沖 野 浩 之… 1
緑の募金にご協力を!!…………… 2
令和7年度林業アカデミーふくしま就業前長期研修生6名が入講しました!………… 3～6
熱中症を防ぎましょう…………… 7

- 普及指導員通信…………… 8
フォレストだより…………… 9
苗協だより…………… 10
木の文化を育む⑦④…………… 11
木材市況・ふくしま東西南北…………… 12
はなしのひろば・お知らせコーナー…………… 13



緑の募金にご協力を!!

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

2025年 緑化運動標語 「希望の芽 緑と一緒に 創る未来」

「緑の募金」運動（当初は「緑の羽根募金」）は昭和25年より始まり、休むことなく、今年で76年目を迎えました。

緑の募金は、県内の緑化活動のための貴重な財源です。

当協会は、毎年4月1日～5月31日（春季）と9月1日～10月31日（秋季）を緑の募金運動推進期間として、活動させていただいております。

緑化運動につきましては、その趣旨を皆様にご理解いただくことが重要でありますことから積極的にPRを行い、「福島緑を守る」という意識の醸成を高めるため、引き続き活動を進めてまいります。

募金活動は、例年どおり4月1日からスタートしておりますので、皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

県内各地で行われている緑化活動



地方育樹祭（育樹活動）



中学生による学校緑化活動

令和7年度 緑の募金運動

1. 募金の目標額 55,000,000円
2. 募金運動の期間 4月1日～5月31日（春の新緑シーズン）
9月1日～10月31日（秋の紅葉シーズン）
3. 事業内容
 - (1) 森林の整備
県民参加の森林づくりの推進、地方植樹祭・育樹祭の開催等
 - (2) 緑化の推進
緑の少年団の育成、緑化苗木の配布、学校緑化活動促進、花いっぱい運動、緑の写真コンクールの実施 等
4. お問い合わせ先 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会（緑化推進局 緑化推進課）
〒960-8043 福島市中町5-18 福島県林業会館内
TEL：024-524-1480 FAX：024-521-3246



◀ こちらからも
募金できます！
緑の募金QRコード
(クレジットカード対応)

令和七年度林業アカデミー ふくしま就業前長期研修生 六名が入講しました！

福島県林業研究センター

桜のつぼみが花開き、春の訪れを感じさせる四月七日、県林業研究センター研修施設において、林業アカデミーふくしま就業前長期研修令和七年度入講式を執り行いました。

佐藤宏隆副知事、西山尚利県議会議長をはじめ、多くの御来賓の方々の御臨席の下、本県の林業で新たに活躍を目指す研修生六名が出席しました。

式では、県林業研究センター石井所長が研修生一人ひとりに研修許可証と防護ヘルメットを交付し式辞を述べ、佐藤副知事からは「このアカデミーに集った同じ志を持つ仲間とともに切磋琢磨しながら、自らの未来、そして福島県林業の未来を切り拓く人材として大きく成長してほしい。」と期待の言葉をいただきました。

来賓の西山議長からは祝辞の中で「試練を経て成長した先にいる新たな自分『未見の我』に出会うために、挑戦を続けてほしい。」と、研修生に激励の言葉が贈られました。

研修生を代表して渡邊淳さんが誓いの言葉を述べ「充実した設備が整っているこの恵まれた環境で高い専門性を養い、社会に貢献することが、このアカデミーに集う者の使命であると考えている。研修生一同、それぞれの目標に向けて日々研修に励みたい。」と研修生活への決意を表明しました。

今後の研修運営にあたり、研修生の作業技術の習得や現場で必要な資格取得、さらには就職希望先へのインターンシップの受け入れやマッチング等につぎまして、引き続き森林・林業関係者の皆様の御協力をよろしく願います。

※研修の様子は、「林業福島」で掲載することにも、Facebook・Instagramで随時公開して参りますので、ぜひご覧ください。



林業アカデミーふくしま
Facebook



林業アカデミーふくしま
Instagram (NEW)



研修生代表誓いの言葉



入講許可証と防護ヘルメットの交付



研修生6名始動します！



記念撮影

四、五月の研修内容

一年後の就業に向けて、四、五月は、林業を行う上で欠かせない基礎知識や資格取得を中心に研修を行います。

四月

前半で、林業における基本的な用語や福島県の林業の現状を学び、中頃に刈払機とチェーンソーの特別教育を受講します。

後半は、測量の基礎や森林の機能などについて学び、最後の就職ガイダンスでは林業の業務内容や事業体と森林組合の違い、緑の雇用事業の内容など、七月のインターンシップに向けた就業体験先を選ぶポイントについて学びます。

4月の研修内容	
安全の基礎	
森林・林業の基礎	
林業の仕事	
林業の手道具	
刈払等業務の基礎	資格
伐木等業務の基礎	資格
特用林産	
チェーンソー伐木造材技術	
周囲測量	
森林保護	
就職ガイダンス	

五月

ゴールデンウィーク明けには、六日間にわたる車両系建設機械運転技能講習、その後、五日間にわたる高性能林業機械運転の業務に係る特別教育を受講します。六月に不整地運搬車技能講習を受講すると、一通りの林業機械を運転できるようになり、その後は技術の習得に向けて実践的に取り組んでいきます。

後半は、ハスクバーナ・ゼノア(株)と(株)スチールに講師をお願いし、チェーンソーや刈払機の構造やメンテナンス方法、メーカーが推奨している使い方などを学びます。

このように、前半で基本的なことを学び、後半は実践と応用を繰り返すことで技術の定着を図ることとしており、研修生達の成長が楽しみです。

5月の研修内容	
車両系建設機械運転技術	資格
立木調査	
高性能林業機械運転技術（伐木等機械／走行集機械／簡易架線集材装置）	資格
ハーバスタシミュレータトレーニング	
チェーンソー伐木造材技術	
チェーンソーの取扱と安全性の追求	
刈払機の取扱と安全性の追求	
森林・林業の基礎	





いしかわ しげる
石川 滋

私はもともと野鳥が好きで、観察をする中で、彼らが暮らす森林環境そのものにも関心を持つようになりました。豊かな森があるからこそ、多様な生きものが生きていけることを実感し、自分もその環境を守り育てる仕事に携わりたいと考えるようになりました。

そんな中で、林業アカデミーふくしまの存在を知り、入講を決めました。これまで未経験の分野のため、林業という仕事には不安もあります。

これからの一年間の研修では、安全な作業技術や森林整備の知識、機械の操作など、林業に必要な基礎をしっかりとし身につけたいと思っています。また、研修の中でお世話になる方々や仲間との交流を通して多くを学び、自分の視野を広げる機会としたいです。

福島の森林に携わり、自然と人をつなぐ林業従事者を目指し、充実した一年にしたいと考えています。



いのまた ふうと
猪股 楓斗

私が林業アカデミーふくしままでの一年間で一番学びたいことは伐採についてです。

現在私は林業事業に従事していて、新事業として伐採業務に取り組むためにアカデミーの入講を希望しました。伐採はとても危険な作業なので安全な技術についてしっかりと学び、一年後に林業に貢献できる人間になれるよう努力していきます。

アカデミーでは十三種類の資格が取れるという強みがあります。伐採に加え車両系の資格も取得でき、業務に活かせる部分がたくさんあるので一年後に向けて資格の勉強も頑張っていきたいです。そして教えていただける先生方も林業の専門の方々なので専門知識をできる限り吸収して仕事に活かせるようにしたいです。

この一年間、仲間達と切磋琢磨しながら研修に励み、全員で修了できるよう、一人前の杣人を目指して頑張ります。



さとう なおや
佐藤 尚也

私が林業アカデミーふくしまを受講しようと思ったきっかけは、幼い頃から屋外での活動が好きだったことに加えて、草刈りや森林の伐採について興味がありました。高校生になって進路活動をしていた際に、大自然の中で活動できる林業職に就職したいと思いました。そこで林業を始めるうえで重要な知識、技術、資格についてを学べる林業アカデミーふくしまの存在を知り入講しました。

これまでの林業に対する私のイメージは、危険で過酷なものだと思っていましたが、それを乗り越えた先にはものすごい達成感がある事も知ることができました。ここでの一年間をとっても充実したものにして一年後、社会人としても林業従事者としても、恥ずかしくない周囲の人から頼りにされる人間になれるように、日々の研修を一生懸命取り組んでいきたいと思っています。



さとう 佐藤 颯

林業の現場で、自然と共に生きながら地域や社会に貢献できるよう、この一年を将来につながる大切な時間に使いたいと考えています。

基礎知識や技術を確実に身につけることを目標に、樹種や山の地形、伐採・植林の工程、安全作業に必要な機器の扱い方など、幅広い分野を学び、実践を通じて理解を深めていきます。特に、森林の管理方法や生態系への理解に力を入れ、持続可能な森林資源の利用について深く考えていきたいです。

また、森林における林業が果たす環境保全や災害防止といった社会的役割を理解し、それを周囲の人々に伝える力を養っていきたくと考えています。

将来は、地元の人々や他の業界と連携し、地域社会全体で支え合いながら、持続可能な森づくりに貢献できるよう、失敗を恐れずに挑戦を続けていきたいと思っています。



はやし 林 ゆうすけ 勇佑

私は、前職で製造系の仕事をしていたのですが、退職後に何をやるかと考えていた際に目に入ったのが、林業アカデミーふくしまのパンフレットでした。充実したカリキュラムや、自己負担無しで資格が取れることなどにとっても魅力を感じました。そして、自然豊かな福島で林業従事者として働くのもいいかもしれないと思い受講を決意しました。

研修施設は木材がふんだんに使われており、充実した設備に感動しました。林業を学ぶのにこれ以上ないほどの環境に感謝しつつ、それを無駄にせぬようにこれから学ぶ知識と実践で得られる経験を最大限吸収し、将来従事する林業の現場での糧にしていきたいです。そしてゆくゆくは学んだ知識を次世代に繋いでいく立場として、福島の自然を守り、杣人として恥ずかしくない人材になれるよう精進してまいります。



わたなべ 渡邊 淳

「子ども達や、後に続く人たちの世界をより良いものにしたい」そんな想いを抱くようになったのは、最近になってのことです。

子どもが生まれ、日々成長する姿を見守るうちに「少しでも良い環境で育ててほしい」「心が穏やかになる場所を残したい」という想いが、自然と自分の中に芽生えてきました。

これまで森林を守り育ててきた人たちの想いを受け継ぎ、今を生きる私たちが心を注ぎ、次の世代へとバトンのように繋いでいく。林業は、私のそんな願いをかたちに出る仕事だと感じました。

アカデミーの研修では、先人たちの知恵や技術を学びながら、持続可能な森林づくりに対する理解を深めたいと考えています。また、福島の現状や環境教育にも目を向け、自然と人、今と未来をつなぐ架け橋としての役割を果たせるよう成長していきたいです。

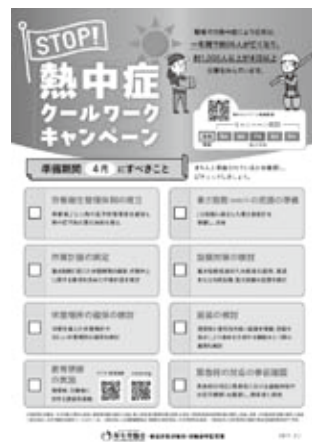
熱中症を防ぎましょう

～熱中症対策について労働安全衛生規則が改正されます～

福島労働局労働基準部健康安全課

福島県内の令和6年の熱中症による労働災害は、死亡者数は0人でしたが、休業4日以上死傷者は19人で、令和5年と比べて6人減少しました。これから暑くなる時期ですので、職場での熱中症予防に取り組みましょう。

また、熱中症による死亡災害の多くが「初期症状の放置、対応の遅れ」を原因としていることを受けて、熱中症対策について労働安全衛生規則を改正（令和7年6月1日施行）しましたので、以下の「改正労働安全衛生規則の内容」を確認し、必要な事項を実施して熱中症を防ぎましょう。



令和6年 熱中症災害発生事例の抜粋

発生月	被災者	発生状況
7月	男 60歳代	気温30度を超える中での屋外作業中、手の硬直を感じた。その後、日陰で休んでいたが周囲からの声掛けに対する応答が曖昧になった。

改正労働安全衛生規則の内容

《対象作業》

WBGT値28度以上
又は
気温31度以上

の環境下で

連続1時間以上
又は
1日4時間を超えて

実施が見込まれる作業

《対象作業》

①発見体制の整備

「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制を整備してください。

例：職場巡視やバディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用等

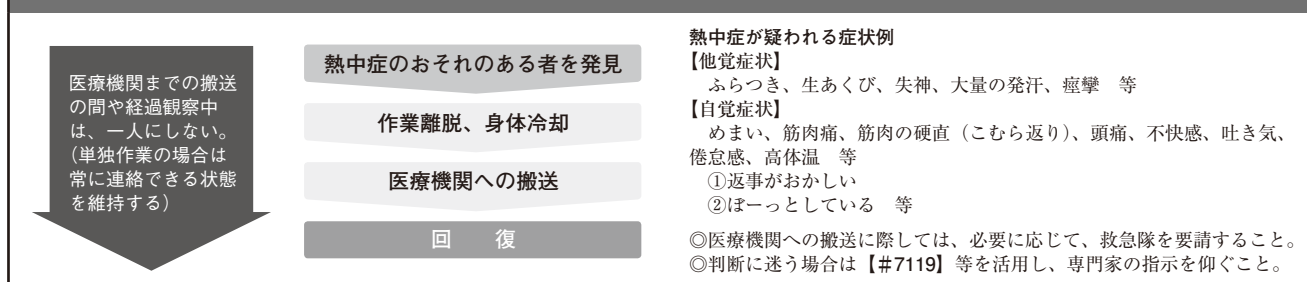
本人からの報告を受けるだけでなく、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

②実施手順の作成

熱中症のおそれがある作業員を把握した場合に、迅速かつ的確な判断が可能となるよう必要な措置の実施手順を作成してください。

〈実施手順の例 フロー図〉

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう

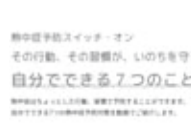


③関係者への周知

上記①②について、あらかじめ関係者に周知してください。

※関係者には労働者以外にも、一人親方など熱中症のおそれのある作業に従事する者が幅広く含まれます。

熱中症予防サイトを活用してください



森林づくり出前講座における 効果的な意識醸成の取組

福島県南会津農林事務所

林業普及指導員 江 村 健

1 はじめに

南会津管内においては、毎年度、「木とのふれあい創出事業」の実施により、子ども達を対象とした森林づくり意識の醸成に取り組んでいます。

令和6年度は管内の3小学校の児童54人を対象に出前講座を行いました。本稿では、木材を使った工作を子ども達に楽しんでもらうことと併せて、より効果的な意識醸成が図られるよう、当事務所の林業普及指導員が講師となって行った2つの取組を紹介します。

2 取組内容

(1)木の香り体験

当事務所では、出前講座の申込みがあった際は、事前に学校を訪問し、実施内容について学校の先生と打合せを行っています。

この打合せの中で、令和6年度の当事務所独自のメニューとして、複数の木材を使った木の香り体験を提案したところ、嗅覚を使った体験は子ども達にも新鮮で面白いとの反応を得られたことから、申込みのあった3小学校のすべてで実施しました。

出前講座では南会津産のヒメコマツのほか、スギやヒノキ等の天然乾燥材に紙やすりをかけて香りを立てたものを子ども達に渡し、香りの良さや違いを体験してもらいました。

子ども達からは「ミントみたいなにおい」、「お風呂のにおい」など楽しく無邪気な感想を聞くことができたほか、この香りの体験は先生方にも好評であり、日頃から子ども達と接する先生方に森林への好意と関心を持ってもらうことで、森林づくり意識醸成の広がりを生むことができるのではないかと感じました。



木の香りを体験する児童

(2)カラマツをテーマとした再生林の講話

南会津管内には県内の約半数のカラマツ林が存在するほか、カラマツの苗木生産と生産された苗木による再生林が行われているという特徴があります。

申込みのあった3小学校のうち「田島第二小学校」における出前講座では、このカラマツをテーマとした内容としました。

この日は1、2年生の低学年児童が対象だったことから、カラマツの球果や枝、木材等を利用した、ボンドでできる簡単なクラフト工作を行いました。

工作では、カラマツの球果がどのようなものか知ってもらい、南会津地域では球果から種を取って苗木を育てていることや、その苗木を山に植えて再びカラマツの森林が育てられていることを伝えました。

年齢的に難しい内容でしたが、球果の実物や学校から見えるカラマツ林の写真を使うことで、児童がより親しみを持って理解できるよう配慮しました。

児童からは「校歌にもカラマツが出てくるね。」と声上がるなど、興味を持って話を聞いてもらうことができました。



カラマツの話を真剣に聞く児童

3 おわりに

県内においても多くの森林が利用期を迎えている一方で、森林施業の担い手の不足が課題となっている現在、森林を守り育てていくためには、次の世代を担う子ども達を対象に森林整備の必要性や木材利用への理解向上を図っていく地道な取組が必要だと考えます。

当事務所では、これからもこのような幼少の頃から木とふれあい、森林を守り育てる心を育む取り組みを行ってまいります。

フォレストだより

「醍醐の桜」

植樹十二年を迎えて

公益財団法人 ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

はじめに

遡ること十二年前の平成二五年四月、フォレストパークあだたらの広場に植樹された京都「醍醐の桜」(太閤千代しだれ)が、今年も鮮やかなピンクの花を咲かせました。

ここでは、多くの方々の御協力のもと実施された「桜植樹事業」の取組と、「醍醐の桜」を紹介します。

桜植樹事業の経過

桜の植樹事業は、東日本大震災による被災地復興支援として、公益財団法人ゴルフ緑化促進会(以下、GGG)からの申し出を受け、GGG、福島県森林・林業・緑化協会、当財団の三者により、平成二五年度から三年を期間とする「植樹緑化協定」を締結してスタートしました。

具体的には、「ふくしま県民の森」内の広場や県道沿いに、六種類六一〇本の桜を植え、東日本大震災からの復興のシンボルとして、「ふくしま県民の森」が福島県民はじめ、県内外の皆さまが訪れる「桜の名所」となることを願い、事業化されたものです。



醍醐の桜 魂入式 (H26.4)

「醍醐の桜」植樹祭(平成二五年四月)や、醍醐寺仲田順和座主による植樹入魂式(平成二六年四月)のイベント等を通じて、関係機関・団体・法人、一般県民が協力して桜の植樹活動が行われました。

醍醐の桜とは

安土桃山の一五九八年(慶長三年)、京都・総本山醍醐寺において、豊臣秀吉は花見に際して七〇〇本の桜を植え、盛大な「醍醐の花見」の宴を開いたそうです。醍醐寺では、



桜植樹マップ

今後の取組
これまで、GGGの支援を始め、樹木医の指導を受けながら、施肥管理や病害虫防除、枯損木の植え替え等を行ってきました。現在、「醍醐の桜」は、樹高六・七m、幹周五六cm、枝張り八・一mまで成長しています。

現在も、それらの桜の子孫で、樹齡が一七〇年を超える名木「太閤しだれ桜」が花を咲かせています。樹勢の衰えが心配されていたこの名木の後継樹を育成するため、住友林業株式会社がバイオ技術による増殖研究に取り組んだ結果、二〇〇四年にクローン桜の開花に成功し、「太閤千代しだれ」と名づけられました。

当時放映中のNHK大河ドラマ「八重の桜」を契機に結びついた福島と京都の絆が一層深まるよう、GGGの尽力により、この「太閤千代しだれ」の苗の贈呈を受け、「醍醐の桜」として、「ふくしま県民の森」に植樹されたものです。



醍醐の桜 開花状況 (R7.4)



醍醐の桜 生育状況 (R6.10)

標高が高く強風や病虫害、獣害など、桜にとっては厳しい生育環境にあります。将来、「醍醐の桜」を始め、植樹された桜が咲き誇る名所となるよう、引き続き管理を行ってまいります。

団体のページ

苗協だより

スギ花粉発生源対策の
花粉の少ない品種



花粉の少ない品種

「花粉の少ない品種」とは、雄花の着花や花粉に関する特性のほか成長、通直性（林業用種苗としての特性）などの基準を満たしたもので、上記の表に記載された品種と定義されています。

当組合では、「花粉の少ない品種」のうち種子を確保できる「スギ特定苗木」と「少花粉スギ苗木」の二種類を生産・出荷していますが、林業種苗法のスギ苗配布区域の定めにより、現在は中通り・浜通りのみでの配布（植栽）となっています。会津地方において植栽可能な「花粉の少ない品種」につきましては、県で採種園を整備しているほか、当組合でも独自に採種園の整備を進めております。

当組合独自のスギ特定母樹採種園の造成

当組合では、今後更に特定苗木の需要増加が見込まれることから、県で進めている林木育種事業を補完し、安定的な苗木供給を図っていくため、特定増殖事業者の認定を受け、補助事業を活用しながら令和四年から会津地方において植栽可能な種子確保のため会津美里町に特定母樹採種園を二ヶ所造成し、今後需要が増加しても安定的に苗木を生産できるよう南相馬市にも特定母樹採種園を七ヶ所造成しました。

○会津美里採種園

特定母樹クローン数…一六クローン

（耐雪性特定母樹）

植栽母樹数…五九四本（九九本×六ブロック）

目標採種量…年間約七キログラム

（令和八年から採種予定）

○南相馬採種園

特定母樹クローン数…九クローン

植栽母樹数…二七〇本（九〇本×三ブロック）

目標採種量…年間約三キログラム

（令和八年から採種予定）

採種園からの採種を令和八年から予定しており、会津地方へのスギ特定苗木供給が令和九年秋植えから可能となる見込みです。当組合としては出来るだけ早く県内全域に「花粉の少ない品種」を植栽できるよう取組を進めてまいります。



南相馬採種園

おわりに

当組合においては、花粉症対策の苗木となるスギ特定苗木の出荷を令和四年から開始、また少花粉スギの本格的な出荷を今年度から開始し、今年度は県内で植栽されるスギ苗木の六割以上の約五九万本の出荷を予定しております。今後、令和十四年までに供給するスギ苗木の全てを花粉症対策用の苗木に切り替えていく計画です。

当組合では今後、国や県等による再造林の推進に伴い増加が見込まれる苗木の需要にしっかりと対応できるよう体制を整備するとともに、関係機関・団体と連携を強化し、優良な苗木の安定供給をとおして、森林資源の循環利用と森林の有する多面的機能の高度発揮、地域の活性化に向けた取組に貢献してまいりたいと考えております。

はじめに

国民の約四割が罹患しているといわれる花粉症を減らすため、国や県が中心となった花粉発生源対策が本格的に始まりました。令和五年に「花粉症に関する関係閣僚会議」が開催され十年後の令和十五年度までにスギ人工林の面積を二割削減する、伐採・植え替えを加速化する施策が打ち出されたほか、花粉の少ないスギ苗木の生産割合を九割以上に引き上げる施策が掲げられたところです。これに基づき、花粉の発生源となるスギ人工林の伐採や花粉の少ない品種への植替えを重点的に進めていく「スギ人工林伐採重点区域」が全国で約九八万ヘクタール（全国のスギ人工林の約二二％）が設定され、福島県内でも一七、二四一ヘクタールが設定されています。今後は「スギ人工林伐採重点区域」を中心に花粉を飛散させるスギ林の伐採と「花粉の少ない品種」等への植替えが進められることとなりますが、当組合におきましては花粉の少ないスギ苗木の需要にしっかりと対応出来るよう体制を整備しているところであります。

【一般的なスギと花粉の少ない品種の違い】

	樹種・品種	花粉量 （スギ精英樹と比較した割合）	特 性	当組合で 生産の有無	現在の配布 可能地域
一般的なスギ	スギ精英樹 （実生苗）	100%	これまでの一般的なスギ	有り	県内全域
花粉の少ない品種	スギ特定苗木 （特定母樹）（実生苗）	50%以下	花粉量が一般のスギの半分程度、成長が1.5倍程度	有り	中通り・浜通り 会津（R10年秋以降）
	低花粉スギ苗木	20%以下	花粉量が相当少ない	—	—
	少花粉スギ苗木 （実生苗、さし木苗）	1%以下	ほとんど花粉を生産しない	有り	中通り・浜通り 会津（R8年秋以降）
	無花粉スギ苗木	0%	花粉を全く生産しない	—	—

※「スギ特定苗木（特定母樹）」は、「スギ花粉発生源対策推進方針」の改正により「花粉症対策に資するスギ苗木」から「花粉の少ない品種」として定義されました。

木の文化を育む⁽⁷⁴⁾

木工とリハビリテーション

「生きがい」のあるまちづくり (株式会社Itepiece)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

近年、木材が人にもたらす生理的・心理的効果についての科学的・学術的解明が進み「木材セラピー」の有効性が明らかにされています。住宅建材をはじめ家具や日用品、子どもの玩具など、日常生活で幅広く活用されている木材は、ストレスの軽減や身体機能の改善を目的とした機能訓練にも役立てられ、「生きがい」のある暮らしを実現しています。

○暮らしのちを支える

株式会社Itepiece (郡山市) は訪問看護を通して地域で生活する人々の暮らしのちを支えることを使命としています。代表取締役 田代勇二さんは、作業療法士として訪問看護を住み慣れた地域での「Life＝暮らしのち」を支える「piece＝ひとかけら」と位置付け、手を取り合いながら人々の暮らしを支援しています。

「私たちの町が、病気や障がいを持っていても安心して暮らし続ける

ことができる」ということは、安心して子育てできる町と言い換えることができると思っています」と田代さん。訪問看護を通して出会った方々の暮らしのちの真摯に向き合い、一人ひとりが「生きがい」をもって豊かな人生を全うできるよう、全力でサポートしています。

○想いに寄り添う

訪問看護は、看護師やリハビリテーション専門職が自宅を訪問し、病気や障がいをきっかけに生活が立ち行かなくなってしまう人の病気や障がいに応じた看護を行います。田代さんは作業療法士として、健康維持や機能回復に向けた日常の活動や作業を通してリハビリを行い、元氣を取り戻せるよう支援しています。

○木工とリハビリ

作業療法士として同社に勤めているリハビリ主任 三浦武さんは、作業療法として木工をリハビリに取り入れています。障がいを負った身体機能回復をめざし、本人の想いに寄

り添ったリハビリを提案します。

郡山市在住の根本薫さん(七三)は、脳梗塞の後遺症で麻痺が残ってしまった右半身の機能回復のために、手を動かすリハビリをさまざまな道具を用いて行っています。肩や手を広げて伸ばすワイピングボードやアキレス腱を伸ばし硬くなる足首を柔らかくする傾斜台を製作するなど、リハビリ工程を一つ一つ経ることで、気持ち前向きになり、自宅に引きこもりがちだった生活も変わったそうです。「木工は作業を通して形になる過程が目に見えるので、木工経験のある根本さんは、その成果がモチベーションとなり自ら木工の作業場へ足を運ぶ生活に変わっていききました」と三浦さん。木工によるリハビリは、後にベンチ製作にまでおよび、木材の重さや形、座り心地や安全性を工夫する「考える力」や物事への「対応力」にも良い効果をもたらしています。

リハビリは本人の希望に合わせてすすめており、根本さんの木工経験を踏まえて提案した木工によるリハビリは、今では根本さんの「生きがい」となっています。

○木製ベンチでまちづくり

根本さんは、簡易なリハビリ用具の製作から作りはじめ、一作目のベンチは株式会社Itepieceの事務所前に設置しました。二作目のベンチは

「散歩中に休む場所として地域の方々に利用してほしい」と地域の久留米郵便局へ寄贈しています。田代さんは今後、根本さん監修のもと、地域の方々や学生と手を取り合いながら、建築端材を活用したまちづくりにも取り組んでいきたいと考えています。

○まとめ

「ベンチを設置することで、足の不自由なお年寄りや障がいを持つ方々が、不安や恐れを抱かずに安心して散歩に出かけられます。地域支援として健康や生きがいをサポートしながら高齢者や障がい者の居場所をつくる活動を広げたい」と田代さん。



木製ベンチに座る様子
後列右：田代さん
前列左から：三浦さん、根本さん



木工に取り組む根本さん

県森連いわき共販における木材市況（4月分）

令和7年5月1日
福島県森林組合連合会

（単位：㎡当り千円）

素 材					
樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要
スギ	4.00	9 下	12.0	11.5	
		10～13	14.0	13.5	
		24上	13.0	11.4	
	3.65	16上			
		24上	11.6	11.0	
	3.00	9 下	10.2	8.0	
		10～13	10.5	10.3	
		14～16	10.4	10.0	
		18～20	12.3	11.5	
		22上	13.5	11.5	
ヒノキ	4.00	10～13	9.0	8.8	
		14～16	16.0	15.0	
		18～20	19.8	16.0	
		22上	20.5	17.0	
	3.00	16～20	17.8	16.5	
アカマツ	4.80	18～22			
		18～22	10.5	10.0	
	4.00	24上	10.5	10.0	
		16～22	10.5	10.0	
	3.00	24上	10.5	10.0	

素 材					
樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要
カラマツ	4.00	12下			
		13～14			
		16上			
クリ	4.00	16上	14.0	13.0	
	3.00	16上	13.0	12.0	
モミ	4.00	20上			

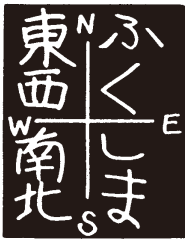
市況概要と市況展望		5月の共販日
販売量は3,544㎡（前年同月比106%）でした。 市況は、スギ3m柱材、中目材ともに市毎に値を下げました。 先行きこの状況が続くと思われます。 スギ4m材の入荷が不足しております。（8cm-40cmくらいまで）造材方よりしくお願い致します。また、スギ3m大径材(40cm上)は動きが非常に悪いので、ご注意ください。		19日(月) 27日(火)

行 事 と お 知 ら せ	
19日(月) 創立記念市 いわき木材流通センター 県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。	
福島県森林組合連合会 木材市況	検索

今冬の会津地方は記録的な大雪となり、人々の生活に大きな影響ができました。一月八日、一月二十九日、二月四日と少なくとも三度の大雪があり、JR各線はもとより、大動脈である磐越自動車道や国道四十九号線が「予防的通行止め」などで同時に不通となるなど、交通網が大きく乱れました。その後、六二年ぶりとなる大雪による災害救助法が県内の三市十一町五村に適用され、除雪が行われるなど、通常の生活に戻るまでに時間を要しました。私の通勤路でも屋根からの落雪など危険な状況が随所で見られました。

当管内でも例年の二倍ほどの積雪量となり、森林整備事業の労働安全を確保するため、補助事業の申請期限が延長されました。また、林道の複数箇所での倒木やきのこ栽培用のパイプハウスの損壊などの被害が発生しており、心よりお見舞いを申し上げますとともに御対応いただいた皆様に感謝申し上げます。

全国的な言い伝えである「カメムシが多いと雪が多い」は、今年に限れば現実の事象となりました。その他カマキリが卵を産み付ける高さなど、昆虫たちの降雪シーズン前のサ



令和7年の会津地方記録的豪雪

（福島県会津農林事務所
（現 福島県森林整備課）

木村 充



屋根の落雪（喜多方市）



現場進入路の除雪状況（喜多方市）

インがありますが、WEB上で調べたところ、これらの因果関係は証明できておらず、結果もまちまちのようです。

しかし、経験に基づいた先人達の言い伝えは、「備えあれば憂いなし」ですので、昆虫たちのサインを見かけたら、早期の冬支度や降雪前の備えを心がけていただきたいと思います。

表紙の写真



「自然・緑・木材資源」

第21回ふくしま森林・林業写真コンクール
優秀賞(県森林・林業・緑化協会賞)
受賞者 片桐勝美さん(喜多方市)
撮影場所: 会津坂下町
コメント: 残雪の飯豊山と新緑、そこから生産された木材資源を撮影しました。

発行人
飯沼隆宏

陽光社印刷株式会社
(定価 一〇〇円)

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
(福島市中町五番一八号県林業会館内)

はなしの
ひろば

初夏の神様

二十四節気で五月五日は、もう「立夏」である。庭には、越冬をしたモンキ蝶、モンシロ蝶やアゲハ蝶が姿を見せてくれるが、あつという間にどこかへと、清々と飛んでいってしまう。そして、遠くからは、ウグイスの安定した声が聴こえてくる。また、トウカエデやプラタナスの新緑が輝き始め、まだ密になっていない街路樹のケヤキの木漏れ日が、大地に五月の光の模様を描いている。視覚的にも聴覚的にも、夏の扉が一気に開いて、あらためて、この一気さに自然の神様を感じるのである。日本には、八百万の神様が息づいておられ、大自然から針の一本にまで、私達の暮らしは、たくさんの神様と結びついている。

五月五日は、子供の日(端午の節句)。子育ての神様は「神功皇后(オキナガタラシヒメ)」夫を早くに亡くし、働きながら子育てをし、子を天皇の位へと導いたと云われ、子育ての神様ながらワーキングマザーの味方でもある。そして、十一日は、母の日。母の日の神様は「トヨタマビメ」この女神様は、海の神様の娘で、生まれたばかりの子を地上に置いて、海へと戻る道を選ぶ。戻るときに、わが子の成長を心配するあまり、自分の乳房をひきちぎり、地上に残したと謂われる。悲しき慈愛に満ちた母神である。そして、六月には父の日。初夏の神様は、家族の尊さを教えてくれる。父母は、我が子を選ばない、そして、子もまた我が父母を選ばずに宿るが、神のみぞ知るご縁の尊さである。

一四四話(都)

お知らせコーナー

令和7年度

一般財団法人福島県林業会館 フォレスト助成金(協賛)事業の募集要項

- 趣 旨** 一般財団法人福島県林業会館(以下、林業会館という)は公益事業としてフォレスト助成金(協賛)事業を募集する。
- 総 額** 4,000千円
- 募集事業の内容**
 - 対象事業** イ. 森林の整備 ロ. 木材の利活用 ハ. 特用林産の振興 ニ. 森林・林業教育学習 ホ. 森林とのふれあい推進 ヘ. 森林・林業に関するその他必要と認める事業
 - 事業費** 一事業あたりの助成金(協賛)額は、原則として20万円以内とする。
- 助成(協賛)対象者**
 - 県内の林業に携わる県内所在の団体であること
 - 交付条件を遵守することが確実であること
 - 交付金によって目的事業を実施することが確実であること
- 申請方法**
 - 申請手続** 事業の目的、内容、交付申請額を福島県林業会館事務局まで提出する。詳細は事務局まで電話でお問い合わせください。
 - 事業の実施期間** 令和7年4月1日から1年以内
 - 受付期間** 令和7年4月1日から5月末日まで
- 事業の採択決定**
林業会館が設置する「フォレスト助成金審査委員会」で選定いたします。
- 応募先** 〒960-8043 福島市中町5番18号 一般財団法人福島県林業会館事務局あて
TEL・FAX 024-522-2407

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》



たちいち

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合



そよりん

林地残材用アタッチメント
グラップルフォーク

GS-90LJF/LJFV

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

- ・フォークが大きく開き、木質バイオマス生産現場での端材の集積に威力を発揮
- ・不要な石を効率良く振るい落とす、格子状のフォーク型トング
- ・手元のノブスイッチだけでグラップルの各操作が簡単・楽に可能

林地残材の集積に威力を発揮するフォーク型特殊グラップル

※本機は林地残材集積用です。掘削、地盤作業には使用しないでください

For the future with forest



イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(仙台支店) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央1丁目16-6
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1

(支店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW

SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1